

小川菊松 きくしょう 出版人。明治二十一年二月二十五日茨城県茨城郡川根村生れ、昭和二十七年七月三日歿（八六八一一九六二）。家は半商半農。明治二十五年上京、日本橋の大洋堂書店を経て至誠堂書店入店。四十五年誠文堂書店を興し、翌年處女出版（澁川と耳書『わがま』）。昭和十年再建した新光社と合併、新たに誠文堂新光社を設立して社長に就任。終戦直後歸京の車中で企劃を思ひつゝいかにいかに『白米會話手帳』を出版、一氣に三百六十萬部を賣り、戦後出版界最初のベストセラーとなる。晩年狩猟犬協会を創設。著書に、『出版興亡五十年』（昭和二十八年八月五日誠文堂新光社）、『出版の面白さむずかしさ』（昭和二十四年二月十日誠文堂新光社）等。『周志のいとおやごさん』小川菊松追憶録（昭和二十八年七月二日誠文堂新光社）出版。朝日新聞社編『白米會話手帳』はなげ売れたい』（平成七年九月一日朝日新聞社「朝日文庫」）がある。

